

インターネット政策の現状と課題

筒井隆司

ソニー株式会社・渉外部

筒井隆司 自己紹介



1982年 ソニー入社

一貫して海外営業と商品マーケティングを担当。

駐在国は中近東・北米・ロシア・欧州・南米など5か国、

駐在期間は計20年に及ぶ。

ロシア、ブラジルでは現地法人社長、日本商工会議所役員等を経験

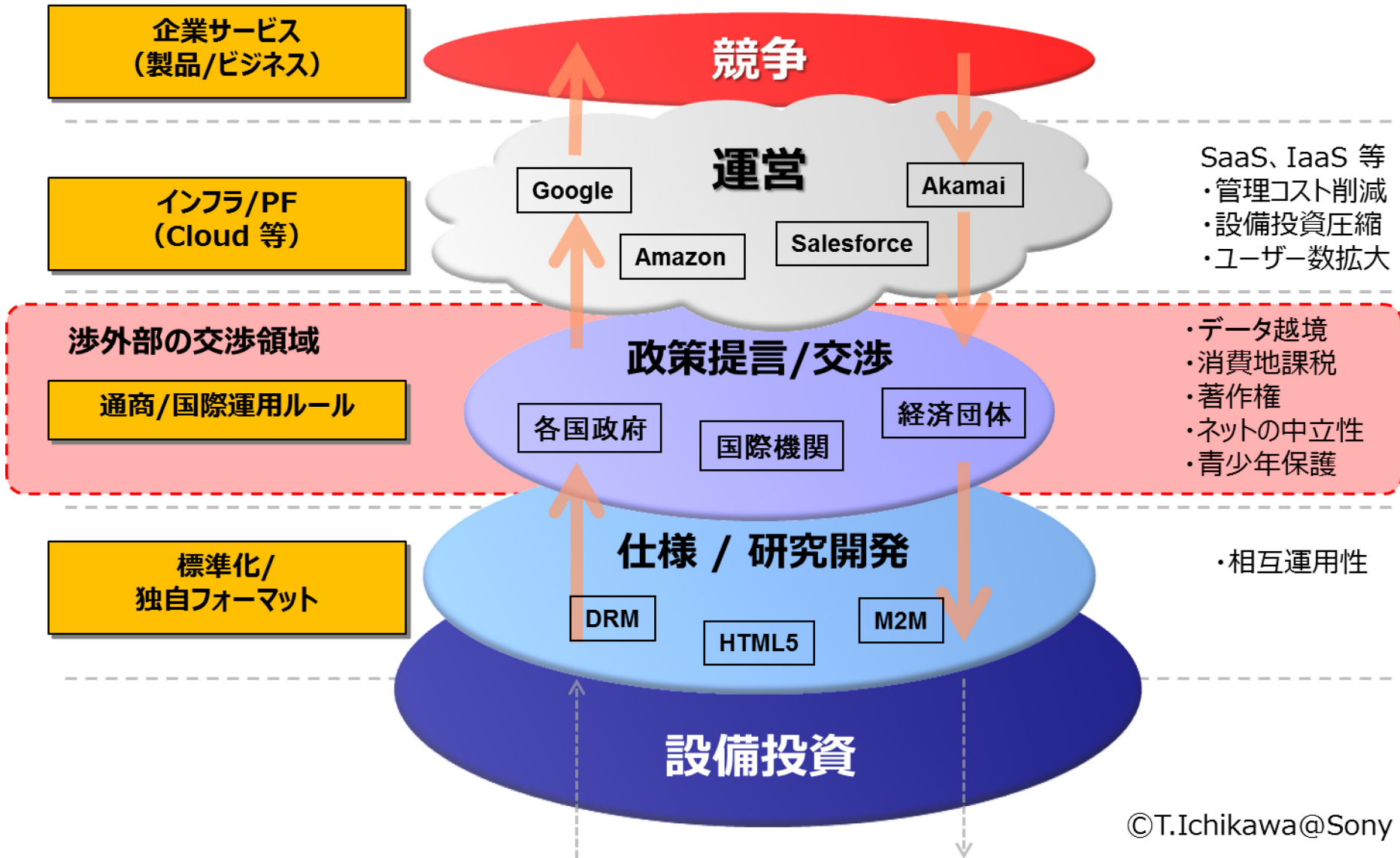
2012年にサンパウロから帰国し、本社・渉外部門を担当。

インターネットの国際ルール形成等の政策渉外活動を展開している。

ネットワーク政策課題

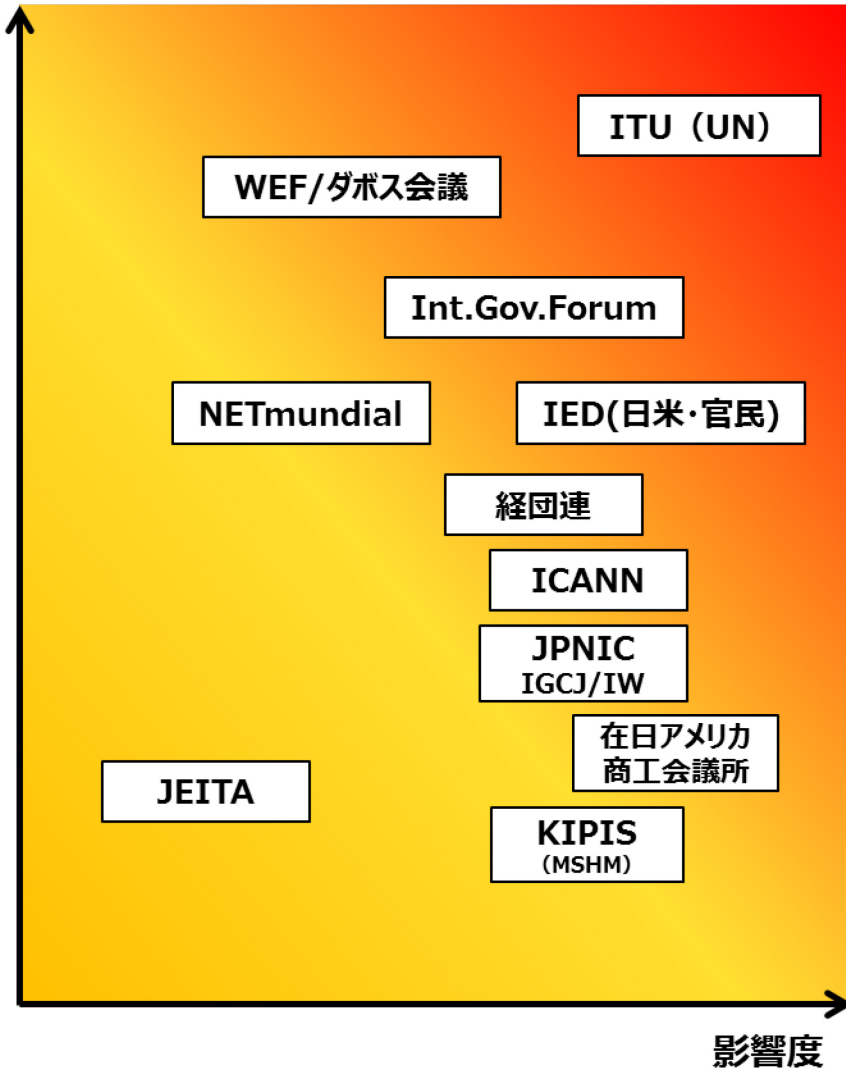
案件名		政策涉外課題	主な課題国・地域	
1	データの取扱い ルール、保護	個人情報の（利活用促進に向けた）保護	インターネットガバナンス	日本・欧州
		データの国際移転		(ブラジル)ベトナム ロシア
		サイバーセキュリティ		
2	ユーザー保護	Online Child Protection (インターネット利用上の青少年保護)	インターネットガバナンス	欧州・日本（携帯・ゲーム・PC）
		アクセシビリティ（障がい者への配慮）		米国
3	コンテンツ配信の 環境整備	ブロードバンド・インフラ拡充、 ネット中立性（インフラ利用の公平性担保）	インターネットガバナンス	主要国 米国
4	コンテンツ保護	著作権	インターネットガバナンス	米国・全世界
5	NTB 通商案件	ネット・コンテンツ/サービス課税 + 消費地課税	インターネットガバナンス	新興国・フランス

「ネットワーク・ビジネス」の多層構造（例）



インターネット政策渉外の活動機会と論点

認知度・注目度



主な主張

情報の利活用を通じてイノベーションを推進したい。

- ・国境を越えた自由なデータの移動を保障
- ・国内データサーバー設置の強制には反対

利用者が情報を健全に利活用できるよう、**内容**（国家安全保障・事業情報・サービス情報・個人情報）**や目的に見合った適切な保護**を行う。

- ・個人情報・個人特定性低減情報の利活用を推進
- ・**DPA**（仮：個人情報運用監督庁）の**新設**

保護者が青少年を適切に保護できる選択肢を準備する。

- ・保護者の管理機能を付与

利用者と権利者の適切なバランスを維持できる仕組み。

- ・著作権保護の規制機能を付与